

教育DXお悩み相談室
ミニトーク

軽井沢町立 **軽井沢中学校**

「一人1台端末 導入で困ったこと, 対応したこと」

4月20日(火)
情報担当 糊澤孝樹
ICT支援員 高橋輝幸



ミニトーク
一人1台端末 導入で困ったこと, 対応したこと

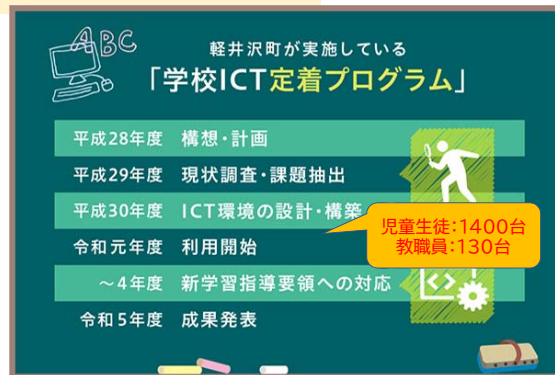
- ①軽井沢町 ICT導入の背景
- ②ICT導入事業者さんにとって困ったこと
- ③ICT支援員さんにとって困ったこと
- ④学校現場の先生にとって困ったこと

①軽井沢町 ICT導入の背景

平成30年「21CALプロジェクト」(*)によって、町内すべての小中学校で1人1台(*)のタブレットを支給する方針を決めた。

※21CALプロジェクト:「21Century Active Learningプロジェクト」の略。CAL(カル)は軽井沢の「軽」ともかけている

※1人1台:小学4年生以上。小学校1~3年生はグループに1台を支給



自治体通信2020年8月号より



全校生徒 1人1台 タブレット端末

- ・校内 全エリア 無線LAN
- ・校務系ネットワーク(教師用)
- ・学習系ネットワーク(生徒用)
- ・製本機能付きカラー複合機
- ・ICT支援員5名



ミニトーク 一人1台端末 導入で困ったこと, 対応したこと

①軽井沢町 ICT導入の背景

質問や反応など
随時チャットに書き込んでください!

②ICT導入事業者さんにとって困ったこと

③ICT支援員さんにとって困ったこと

④学校現場の先生にとって困ったこと

②ICT導入事業者さんにとって困ったこと

1. 推進面

- ・誰が先導するの?
→軽井沢町教育委員会には指導主事をおいていないため、
推進リーダーが不在である。私たちは教育のプロではない。

2. 運用面

- ・先生方のICT理解度の差 専門的な説明が通じない!
→分かりやすく丁寧に1からマニュアルを作成した。

3. 環境面

- ・この校舎の壁 WiFiの電波減衰してしまう!
- ・学習支援ソフトの選定 先行事例がなくて困る!
- ・充電保管庫 同時充電によってブレーカが落ちた!

【コニカミノルタジャパン株式会社 小谷信幸さん】より

ミニトーク 一人1台端末 導入で困ったこと, 対応したこと

①軽井沢町 ICT導入の背景

②ICT導入事業者さんにとって困ったこと

③ICT支援員さんにとって困ったこと

④学校現場の先生にとって困ったこと

③ICT支援員さんにとって困ったこと

1. 導入ソフトの操作や出来ることは理解したけれど……

→出来ることと出来ないことがある。先生方の期待にどこまで寄り添える？

2. 授業中タブレットの「動きが遅い」現象はどう対処する？

→タブレットPCの起動。ソフトの起動。Webサイトの閲覧。
「時間がかかるのだけど、なんとかありませんか？」という質問が多かった。

3. 児童・生徒の操作。クラスごとの「慣れ」の違いについて

→ポイントは「手軽に」「簡単に」「身近に」
→ワンポイントで使用することで、生徒が自然と使用するツールになる。
→タブレットPC＝「筆記用具」「ホワイトボード」等という考え。

ミニトーク 一人1台端末導入で困ったこと、対応したこと

①軽井沢町 ICT導入の背景

②ICT導入事業者さんにとって困ったこと

③ICT支援員さんにとって困ったこと

④学校現場の先生にとって困ったこと

④学校現場の先生にとって困ったこと

1. 授業でどのように使ったらいいの？

→職員研修で楽しく模擬授業

2. 別にICTを使わなくても授業はできるよ？

→未来を創造する子どもたちのために、ぜひ活用を。

3. 生徒は授業中に隠れてゲームをし出すんじゃない！？

→心配は分かるが、使わせない理由にはならない。

4. 臨時休校なのに生徒には持ち帰らせないの？

→2018年 端末の持ち帰りは想定されていなかった。
→しかし、2020年 先生方はオンライン授業を早くから実践した。